

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

札幌市 ACS ネットワークにおける循環器救急搬送患者の実態調査に関する研究

1 研究の対象

2013 年 4 月 1 日以降に、急性冠症候群(ACS)や急性心不全等の循環器救急疾患疑いとして、札幌市内の救急隊より当院へ救急車で搬送された方です。主に循環器内科で診療した方が大部分ですが、休日夜間であれば初診診療科が循環器内科以外の場合もあります。

2 研究目的

札幌市 ACS ネットワークの救急搬送患者の搬送・診断・治療内容・転帰に関する実態調査により、市民の意識・救急体制・治療内容等の検証を行い、今後の活動の改善とさらなる治療成績の向上を図ることを目的としております。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 血清

診療情報: 主病名、入院の有無、収容時バイタルサイン、血液検査所見、緊急カテーテル検査治療の有無(有ならば治療開始時刻、再灌流時刻)、緊急手術の有無、人工呼吸の有無、ペースングの有無、投与薬剤、転帰情報(退院日、院内死亡日、死因)

等、通常診療で得られた情報です。

4 研究組織

研究代表機関:北海道大学病院 研究代表者:循環器内科 永井 利幸

参加機関:30 機関(札幌市 ACS ネットワークへの参画病院であり、個別名は札幌市 ACS ネットワークホームページに記載しています URL:<http://acsn.web.fc2.com>)

5 情報の提供先・提供方法

上記試料/診療情報等を札幌市 ACS ネットワーク事務局(管理責任者が本研究代表機関の北海道大学病院循環器内科永井利幸医師で、札幌市 ACS ネットワークの学術委員長です。)にて個人が特定されない状態で管理されます。データの解析のため札幌市 ACS ネットワーク事務局へ郵送にて提供します。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院 (☎:代表 011-261-5331 内線 4188)

研究責任者:循環器内科 加藤 康寛

問い合わせ担当者:循環器内科 加藤 康寛